

講義科目 : 演習	単位数 : 4
担 当 : 藤枝 律子	学習形態 : 必修科目
	* 第2学年で履修

講義の内容・方法および到達目標

現代の行政とは、国民・住民といかなる関係にあるのか、判例研究を中心として多様な観点から検討を試みる。学期の前半はディベート、後半は各個人の興味関心のあるテーマでの報告の形式で行う。議論・検討を重ねた後、卒業論文の形にまとめ上げることを目標とする。

授業計画

主なテーマとして

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 1 現代行政と行政法 | 16 社会保障制度 |
| 2 行政と憲法 | 17 まちづくり行政 |
| 3 法治主義と民主主義 | 18 教育行政 |
| 4 行政行為の統制 | 19 環境行政 |
| 5 行政準則の裁判による統制 | 20 警察行政 |
| 6 行政手続と法治主義 | 21 都市計画 |
| 7 法治主義と信頼保護の原則 | 22 地方自治 |
| 8 比例原則・平等原則と行政法 | 23 公共交通 |
| 9 行政上の制裁制度 | 24 損失補償 |
| 10 行政代執行制度 | 25 国家賠償法1条 |
| 11 適正手続の原則 | 26 国家賠償法2条 |
| 12 行政計画の適法性要件 | 27 結果責任に基づく国家補償 |
| 13 情報公開制度 | 28 公共事業の問題点 |
| 14 個人情報保護制度 | 29 取消訴訟における原告適格 |
| 15 行政指導の適法性要件 | 30 行政事件訴訟と仮の救済
等が考えられる |

教材・テキスト・参考文献等

・参考資料等は、各回のテーマに合わせて提示をする。

成績評価方法

・平常点（出席20%、ゼミでの報告や議論など30%）及び卒論作成(50%)で総合的に評価する。

その他

・検討・報告テーマ等は、参加者と協議して決める。